



▲生活環境保全林として整備がすすむ中尾山（水俣市）

熊本のすばらしい自然を守り、快適で住みよい生活環境をつくるために、自然の保護、郷土の緑化、郷土の清掃浄化を柱に美しい熊本づくりを推進します。

- ★生活環境保全林等の整備事業.....二億八千五百四十四万円
都市及びその周辺の生活環境の保全を図るため、昨年度まで買収した熊本市の立田山と、水俣市の中尾山に、遊歩道・散水施設等の設置や自然林の改良を行い、また立田山においては本年度も引続き森林を買収します。なお山鹿市福原周辺の森林を保健保安林として整備します。
★野生鳥獣保護事業.....一億七千五百九十九万円
鳥獣保護区の設定、キジの放鳥、野生鳥獣の生息調査、愛鳥モデル小・中学校を育成するほか、あらたに御船町高木地区に鳥獣保護センターと肥後名花園を設置し、鳥獣愛護思想の高揚と環境の整備を図ります。
★自然環境保全基礎調査.....五百七十七万円
自然の植生、湖沼、河川の調査を行い自然環境保全のための基礎データを集めます。
★老樹名木保存事業.....百十六万円

県内各地の歴史と伝説を秘めた老樹名木を保存するための選定調査を行います。

- ★道路沿線の緑化推進（林務水産部）.....千七百五十五万円
県内の主要な道路の沿線に植栽した緑化木の管理を行うとともに、市町村が行う道路沿線の緑化やフラワーポットの設置、採石場跡地等の緑化事業に助成します。
★道の銀行、シンボル花壇の管理（林務水産部）.....千八百七十四万円
熊本市平島町から水前寺間の道路花壇に季節の花を植栽し管理します。
★河川の美化.....二十九億四千九百六十万円
水質汚濁が問題になっている都市周辺河川について、汚泥の浚渫、河道の整備並びに河床の掘削、雑草の除去など河川の環境整備を図ります。
また、河川敷をレクリエーションの場として遊歩道及びスポーツ広場などを含む緑地公園の整備をします。
★道路の美化.....十八億千七百七十三万円
路面並に側溝の美化対策と街路樹等の剪定などを実施します。
★港湾の美化.....一億三千七百万円
港湾及び海岸の環境美化を図るため八代港管理区域に緑地植樹し、高浜港に階段式護岸及び遊歩道の建設を行います。

過疎市町村が行う事業で、他の事業と調整することにより、総合的効果を発揮する事業に対して助成しています。

- ★過疎地域テレビ難視聴対策事業.....千六百万円
過疎市町村において、テレビ放送の受信が困難な地域の解消を図るために、共同受信施設を設置する場合に助成します。
★未点灯解消事業.....三百万円
人里離れた山村で、電灯のない生活をよぎなくされている方々が健康で文化的な生活を営めるように、電気の導入に必要な施設の整備に対して助成します。
★生活環境の整備
過疎市町村においては、公民館等の集会施設に恵まれず、都市的サービス機能の享受が困難なため、基幹集落の育成と、地域社会の再編成を促進するため、国と協力して、
1、過疎地域総合センター（千万円）
2、離島開発総合センター（九千二百万円）
3、高齢者生産活動センター（三千六百万円）
の建設を実施します。
★過疎地域工業導入促進対策.....九百六十万円
過疎市町村における人口の流出を防止し、特に中高年者の就業機会の増大を図るため、過疎地域に立地する企業に対し、優遇措置を講じ積極的に工場立地の促進を図ります。
★過疎対策道路整備.....七億四千五百二十万円
過疎市町村の生産基盤である幹線道路の整備を行います。
★山村振興対策事業.....

三全総推進の柱となる「定住圏構想」実現の手段として、県下九ブロックの広域市町村圏では、本年度及び来年度に分けて既存の広域圏計画を見直し、圏域のあらゆる地域課題に対応することを旨とした総合的な地域計画を策定することとなり、一圏域当たり百万円の県費補助をすることとしました。

- ★自治振興資金の貸付け.....一億六千五百五十万円
市町村及び一部事務組合が行う広域的行政に必要な施設、県の重要事業に関連する市町村道の整備及び美しい熊本づくり運動を推進するための廃棄物処理施設や緑化事業等に必要資金を貸付けするため、昭和四十四年度から自治振興資金の貸付制度を設けています。昭和五十四年度の貸付枠は三億四千万円で、元金と利子（現在年六・〇パーセント）を八年以内に償還することになっています。なお、本年度は、臨時県道整備事業の市町村負担金に充てるため、八億二千五百万円を別枠で貸付ける予定です。
道路、農林道、消防施設、廃棄物処理施設生活下水路等生活環境の整備を市町村が実施されるに当り必要な資金の貸付けを通じ、地域の振興に寄与していただきます。
★新広域市町村圏計画策定費補助.....三百二十五万円
県土の地形・地質・土壌の分類調査によって土地利用の可能性を明らかにするため、国土調査法による土地分類基本調査を、本年は五木村について行います。
★統計調査.....一億八千八十八万円
商業統計（六月一日）、国勢調査区設定（十月一日）、全国消費実態（九月、十月、十一月）、一九八〇年世界農林業センサス（二月一日）等の調査を行います。